

会津若松市議会政策討論会

各検討主体の政策研究に係る中間報告

平成24年4月24日

政策討論会第1分科会

同 第2分科会

同 第3分科会

同 第4分科会

議会制度検討委員会

政策討論会での政策研究に係る中間報告 (第 1 分科会)

1 総括

政策討論会第 1 分科会では、平成 23 年 12 月 8 日の全体会で割り振られた 10 討論テーマのうち、「本市財政の持続可能性と事業・サービスとの調和について～市民が事業・サービスを選択しうる舞台づくり」と「行政サービス提供機能のあり方と庁舎等整備の方向性について」の 2 つを、平成 23 年 12 月 22 日及び平成 24 年 4 月 10 日の分科会で、それぞれ「健全な行財政運営に基づく最適な自治体づくりについて～財政分析、自治基本条例、公共施設マネジメント白書～」と「均衡ある行政機能と住民サービスのあり方について」として具体的テーマを設定し、政策研究を開始したところです。

まず、「健全な行財政運営に基づく最適な自治体づくりについて～財政分析、自治基本条例、公共施設マネジメント白書～」のテーマでは、総務委員会の行政調査で神奈川県大和市の自治基本条例等と千葉県習志野市の公共施設マネジメント白書を調査するとともに、「自律自治体を目指して」の演題で政策研究セミナーを開催し、財政運営や自治体経営に係るご指導を頂戴して意見交換を行いました。

次に、「均衡ある行政機能と住民サービスのあり方について」のテーマは、今後、具体的に調査研究を行っていきます。

以上のとおり、割り振られた政策課題を解決するため、政策討論会分科会の活動に限らずさまざまな手法を活用しながら、今後とも政策研究を進めていきます。

2 経過及び予定

年	月 日	内 容
23 年	10 月 31 日	□自主研究（前期議会政策討論会第 1 分科会の最終報告の確認）
	12 月 22 日	□自主研究（2 つの討論テーマの具体化の討議）
平成 24 年	1 月 19 日	□自主研究（今後の進め方）
	1 月 30 日	□総務委員会行政調査（神奈川県大和市＝自治基本条例、市民参加推進
	～31 日	条例、住民投票条例の制定経過、千葉県習志野市＝公共施設マネジメント白書）
	2 月 10 日	□自主研究（財政分析）
	3 月 23 日	□政策研究セミナー（山梨学院大学法学部政治行政学科・西寺雅也教授＝自律自治体を目指して）
	4 月 10 日	□自主研究（総務委員会での行政調査や議案審査、及び分科会でのセミナー受講後の政策研究等の中間総括、2 つの討論テーマの具体化の確認・決定、今後の進め方）

政策討論会での政策研究に係る中間報告 (第 2 分科会)

1 総括

政策討論会第 2 分科会では、平成 23 年 12 月 8 日の全体会で割り振られた 10 討論テーマのうち、「高齢社会及び少子化社会における社会保障サービスとその負担のあり方について」を優先的に課題解決すべき事項としました。

まず、先進自治体の福祉政策及び子育て政策の調査研究のため、文教厚生委員会の行政調査において東京都狛江市の福祉基本条例並びに世田谷区の子ども条例及び子ども計画の調査を行い、また、政策研究セミナーを開催し、社会保障制度の総論及び地方自治体の今後の役割並びに社会保障と税の一体改革について、福島大学行政政策学類 今野順夫特任教授からご指導を頂戴して意見交換を行いました。

こうした調査研究を通じて、国県の社会福祉政策の動向を踏まえながらも、高齢者対策や子育て支援など、本市における諸課題を解決するための政策が必要であることから、問題分析の具体的テーマを「今後の地域社会福祉のあり方について」としました。

以上のとおり、割り振られた政策課題を解決するため、政策討論会分科会活動に限らずさまざまな手法を活用しながら、今後とも政策研究を進めていきます。

2 経過及び予定

年	月 日	内 容
23 年	10 月 27 日	<input type="checkbox"/> 自主研究 (前期議会政策討論会第 2 分科会の最終報告の確認)
	12 月 20 日	<input type="checkbox"/> 自主研究 (政策研究テーマの具体化の討議)
平成 24 年	1 月 23 日 ～24 日	<input type="checkbox"/> 文教厚生委員会行政調査 (東京都狛江市＝狛江市福祉基本条例、同世田谷区＝世田谷区子ども条例及び子ども計画)
	2 月 9 日	<input type="checkbox"/> 自主研究 (行政調査を受けての委員間討議)
	3 月 28 日	<input type="checkbox"/> 自主研究 (政策研究セミナーに向けての事前学習)
	3 月 28 日	<input type="checkbox"/> 政策研究セミナー (福島大学行政政策学類・今野順夫特任教授＝社会保障制度の総論及び地方自治体の今後の役割並びに社会保障・税一体改革)
	4 月 17 日	<input type="checkbox"/> 自主研究 (政策研究セミナーを受講しての委員間討議)

政策討論会での政策研究に係る中間報告 (第3分科会)

1 総括

政策討論会第3分科会では、平成23年12月8日の全体会で割り振られた10の討論テーマのうち、「地域経済活性化と持続可能な地域産業の維持・育成」について、「地域経済が持続可能な形で活性化するあり方について」及び「地域産業を維持・育成することができる方策（仕組みづくり）について」を問題分析のテーマとして設定し、政策研究を開始しました。

まず、「地域経済が持続可能な形で活性化するあり方について」のテーマについて、今後の地域産業のあり方を考えるためには、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う影響を総括する必要があるとの議論が集約され、政策研究セミナーを開催し、福島大学経済経営学類 小山良太准教授から地域産業の現状と復興への展望に係るご指導を頂戴して意見交換を行いました。

また、課題解決の手法として、立法も視野に検討すべきとの議論から、産業経済委員会の行政調査で、静岡県静岡市における議員提案条例の取り組みについて調査を行うなど取り組みを進めてきました。

以上のとおり、割り振られた政策課題を解決するため、政策討論会分科会に係る活動に限らずさまざまな手法を活用しながら、今後とも政策研究を進めていきます。

2 経過及び予定

年	月 日	内 容
23年	10月27日	<input type="checkbox"/> 自主研究（前期議会政策討論会第3分科会の最終報告の確認）
	12月12日	<input type="checkbox"/> 自主研究（政策討論会第3分科会の研究テーマの討議）
	12月26日	<input type="checkbox"/> 自主研究（政策研究の具体的検討項目等に関する討議）
平成24年	1月16日 ～17日	<input type="checkbox"/> 産業経済委員会行政調査（静岡県掛川市＝掛川市中心市街地活性化基本計画、静岡県静岡市＝静岡市めざせ茶どころ日本一条例、静岡市ものづくり産業振興条例）
	1月24日	<input type="checkbox"/> 自主研究（今後の進め方）
	3月22日	<input type="checkbox"/> 政策研究セミナー（福島大学経済経営学類・小山良太准教授＝東日本大震災及び原子力発電所事故による地域産業への影響と復興への展望）
	4月18日	<input type="checkbox"/> 自主研究（行政調査や議案審査、政策研究セミナー終了後の総括）
	4月27日 (予定)	<input type="checkbox"/> 政策研究セミナー（福島大学・鈴木浩名誉教授＝東日本大震災及び原子力発電所事故による地域産業の復興と展望）

政策討論会での政策研究に係る中間報告 (第 4 分科会)

1 総括

政策討論会第 4 分科会では、平成 23 年 12 月 8 日の全体会で割り振られた 10 討論テーマのうち、「防災などの地域の諸問題解決に向けた地域と行政機関等との連携による新たな地域社会システムの構築について」を「雨水流出抑制による総合的な治水対策について」に、「都市計画の基本的方向性について」を「社会資本整備による都市計画の全体最適性について（道路、公園、住宅、上下水道などの公共施設整備のあり方）」に、それぞれ 24 年 1 月 18 日の分科会で具体的テーマを設定し、政策研究を開始しました。

まず、「雨水流出抑制による総合的な治水対策について」のテーマでは、建設委員会の行政調査で愛知県春日井市を調査するとともに、政策研究セミナーを開催し、雨水流出抑制による総合治水対策の概論に係るご指導を頂戴して意見交換を行いました。

次に、「社会資本整備による都市計画の全体最適性について」のテーマでは、政策研究セミナーを開催し、地方自治体を巡る都市計画の概論に係るご指導を頂戴して意見交換を行いました。

さらに、前期議会から引き継がれた「市営住宅の今後の方向性について」のテーマでは、執行機関から示された城前団地建替計画案について、前期議会での政策提言に照らして適切に策定されているか検証するため、政策研究セミナーを開催してご指導をいただく予定です。

以上のとおり、割り振られた政策課題を解決するため、政策討論会分科会活動に限らずさまざまな手法を活用しながら、今後とも政策研究を進めていきます。

2 経過及び予定

年	月 日	内 容
23 年	10 月 25 日	□ 自主研究（前期議会政策討論会第 4 分科会の最終報告の確認）
	12 月 9 日	□ 自主研究（討論テーマの具体化の討議）
平 成 24 年	1 月 18 日	□ 自主研究（2 つの討論テーマの具体化の確認・決定）
	1 月 23 日	□ 建設委員会行政調査（愛知県常滑市＝やきもの散歩道地区景観計画、愛知県春日井市＝雨水流出抑制施設整備による総合治水対策）
	～24 日	
	3 月 22 日	□ 政策研究セミナー（福島大学行政政策学類・今西一男准教授＝地方自治体を巡る都市計画の概論）
	3 月 28 日	□ 政策研究セミナー（福島大学共生システム理工学類・川越清樹准教授＝雨水流出抑制による総合治水対策の概論）
	4 月 11 日	□ 自主研究（建設委員会での行政調査や議案審査、及び分科会でのセミナー受講後の政策研究等の中間総括）
	4 月 27 日 (予定)	□ 政策研究セミナー（東北工業大学工学部・谷津憲司教授と新井信幸講師＝市議会の政策提言に基づく城前団地建替計画への指導）

政策討論会での政策研究に係る中間報告 (議会制度検討委員会)

1 総括

政策討論会議会制度検討委員会では、平成 23 年 12 月 8 日の全体会で割り振られた 10 討論テーマのうち、平成 24 年 4 月 11 日、「議員活動と議員定数等との関連性及びそれらのあり方について」を「議会活動、議員活動の検証と市民との情報共有のあり方について～議会の見える化とそのシステムづくり～」として具体的テーマを設定し、政策研究を開始しました。

今後、割り振られた政策課題を解決するため、専門的知見の活用や先進事例の研究などさまざまな手法を活用しながら、政策研究を進めていきます。

2 経過及び予定

年	月 日	内 容
23	10 月 7 日	<input type="checkbox"/> 自主研究（前期議会からの申し送り事項の確認）
年	10 月 28 日	<input type="checkbox"/> 自主研究（議会制度検討委員会最終報告の確認）
平	4 月 11 日	<input type="checkbox"/> 自主研究（具体的テーマの確認・決定、委員の公募、議会制度検討委員会活動の中間総括、今後の進め方）
成	5 月 1 日	<input type="checkbox"/> 市民委員の公募開始
24	(予定)	
年		

※ 今後の予定

専門的知見の活用や先進事例研究（北海道福島町議会等）など